

IELTS 対策コースナビ

Vol. 4

beoカレッジ ～ライティング編～

高スコアに求められるのは
構成力と論旨の一貫性

留学準備をサポートする多くの機関やスクールが、IELTS 対策に的を絞ったコースを開講している。独学では得られない多くの気づきを与えてくれる IELTS 対策コース。今回は beo カレッジのライティング対策を見てみよう。

総合的な授業にも満載
ライティングのコツ

IELTS のライティング試験には、図や表、グラフを見て 150 語以上で説明する Task 1 と、与えられたトピックについて自分の考えを 250 語以上で説明する Task 2 という、2つの設問がある。Task 1 では、図表が意図しているところを正確に読み取り、それを簡潔にまとめる力が必要だ。一方、Task 2 では、ものごとを論理的に思考し、それを秩序正しく構成する力が求められる。

大学・大学院留学のための学習を専門にサポートするスクール beo カレッジでは、日本の高校や大学で習得するのが難しい、アカデミックな文章のまとめ方を指導。与えられた課題に沿って書いた文章を、講師が一つひとつ丁寧に添削してくれる。

海外の大学院留学を目指す「大学院留学準備コース」では、普段の授業ではリーディン

グ、リスニング、スピーキングの力を総合的に鍛え、ライティングの課題は宿題となっているが、実は日頃の授業の中にも、ライティングの力を伸ばすためのヒントが含まれている。「例えば、テキストを読む際に、新しい語彙に着目したり、文章の流れやまとめ方を確認しているうちに、自分のライティングに役立つ要素が見出せるはずだ。また、リスニングやスピーキングの練習をしているうちに、書き言葉と話し言葉のスタイルの違いも理解できるようになってくるでしょう」と、beo カレッジの講師は話す。

定期的を書くことで
文章をブラッシュアップ

ライティングの課題は、講師がインターネットの専用サイトにライティング用の課題をアップロードし、受講生が自分の文章をアップ、またはメールで送ると、折り返し添削がインターネットを通して返ってくるとい

うシステムを採っている。ライティング力は短期の勉強で大きく力が変わってくるものではないので、この「期限を決めて定期的を書く」というトレーニングは非常に大切だ。講師のアドバイスのもとに、書くたびに自分の文章の欠点を改善していくことで、次第に論旨の整った、なめらかな文章を書くことができるようになる。

日本人が英語を書く際は、時制はこれでよいか、接続詞は何を使うかなど、どうしても文法的なことにこだわってしまいがちだが、IELTS では、正しい文法に基づいて書くのが大切なのもちろんのこと、それと同じくらい、文章の構成力や論旨の一貫性が求めら

れる。例えば「導入」「本文」「結論」といった英語の文章ならではの構造を持たせることは非常に大切で、これも講師の指摘をもとに自分の文章の構成を意識することで、次第にできるようになっていく。

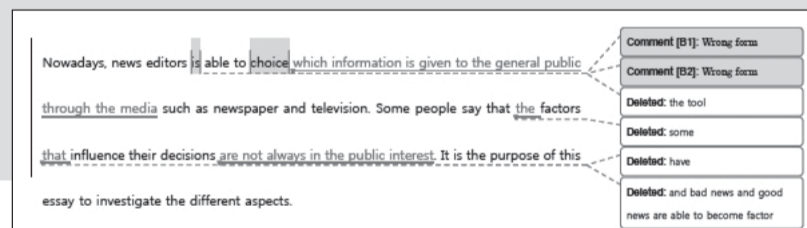
IELTS で高いスコアを得るためのポイントも、授業や添削を通して教えてくれる。「Task 1 では細部にこだわりすぎず、最も顕著な特徴をすばやく正確に見つける」「Task 2 では、利点と欠点、その根拠も示し、さらに自分の意見を加えること」などだ。さらに一定の時間内に文章をまとめる訓練をし、最後に見直す時間も持てるようにするとよいと、アドバイスをいただいた。

きめ細かい添削指導

今回は、IELTS 対策もしくは大学院留学の準備のためのライティングの課題とその添削例を見せてもらった。設問には「報道のテーマの選び方についてどう思うか」といったことが、英語で書かれている。受講生は、エンターテインメントや政治など人々の話題を集めやすいテーマがよく報道されること、また、いい話よりも悪い話のほうに偏りがちであることなどを挙げている。

講師は添削の中で「some factors → the factors」「an image → such images」

など細かい言葉の使い方を直すほか、「in other words, (別の言い方をすれば、) を使って説明を加えてみよう」「適切なつなぎ言葉を使い、原因と結果の関係をよりはっきりさせること」など、よりよい文章にするためのヒントを与える。さらに、「You raise some interesting points ... (いくつかの興味深い点を挙げています……)」など、よいところにも触れて講評している。丁寧に読んでくれる人がいると、ライティングの課題も楽しみながらこなせるようになってくるだろう。

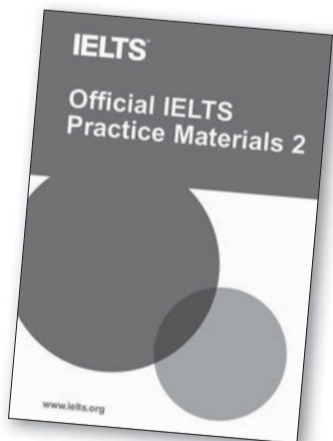
beo カレッジ <http://beocollege.jp/>

Book IELTS 攻略本

[Official IELTS Practice Materials 2]

本番さながらにトライ

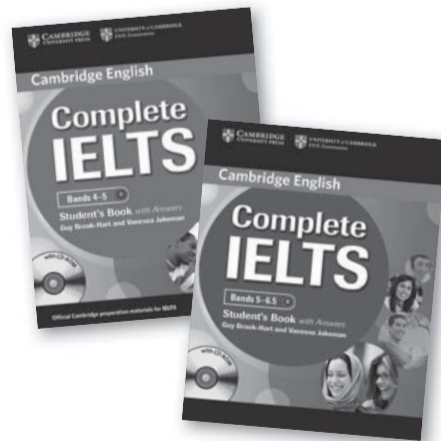
アカデミックモジュール、ジェネラルトレーニングモジュールの各セクションの模擬テストを1部ずつ収録しています。ライティングでは受験者の解答サンプルと試験官からのコメントを収録。苦手意識を持つ受験生が多いライティングですが、効率よく点数を伸ばしたい方に必読の教材です。スピーキング、ライティングの評価基準にも触れているので、今後の学習の参考になるでしょう。

Official IELTS Practice Materials 2
Paperback with DVD 本体価格 1,600 円

[Complete IELTS Bands 4-5/5-6.5/6.5-7.5]

バンド別に効率よく学ぶ

アカデミックモジュール用のコースブック。解答つきの Student's Book と Audio CD がセットになった Student's Pack で、自学自習用としてお使いいただけます。トピックベースの10ユニット構成で、各ユニットで4つのセクションをカバー、スコアアップに必要な戦略やスキルを学びます。巻末には1回分の模擬テストを収録。目指すバンドに合ったレベルでより効果的な学習が可能です。

Complete IELTS Bands 4-5/5-6.5 Student's Pack 本体価格 各 6,000 円
Complete IELTS Bands 6.5-7.5 Student's Pack 本体価格 6,500 円上手な
活用法

自分が受験するモジュールを選んで挑戦してください。実際のテストと同じような状況で問題を解き、規定の制限時間で終わるよう、模擬テストで本番の下準備をしておきましょう。

上手な
活用法

まずは Unit 1 から順に学習しましょう。すべてのユニットを終えたら、そこから学んだヒントやアドバイスを思い出しながら、模擬テストで力試し。本番に向けて万全の準備を整えましょう。